

自由と平和。100年、つらぬく。日本共産党

日本共産党白井市委員会の政策を紹介します

市議になって4年間つづけてきたこと



(左)街頭宣伝



(右)コロナ公園看板問題を市民に知らせたニュースの絵

徳本市議は、コロナ禍で多くの議員が自粛した「議会での一般質問」、「毎週の宣伝」を唯一休まず続け、自作イラストで市の情報を伝えてきました。

徳本光香（とくもとみつか）プロフィール

1979年生。堀込・池の上で育ち、清水口在住。趣味は映画、イラストなど。南山小中学校、昭和秀英高校、明治大学卒業。元アニメーター。言語聴覚士の国家資格をとり、言葉・食事のリハビリ、児童発達支援に関わり、千葉市と白井市で勤務中。安保法制(戦争法)を機に反戦活動を開始。白井市議(1期)。



白井市議会議員 言語聴覚士
徳本光香

子育て支援3つのゼロ

<p>給食費 全員無料化</p> <p>県内9市が無料化。給食は食育の教材。憲法にある通り「義務教育は無償」に！</p>	<p>18才まで 医療費無料</p> <p>県内自治体の半数、27市が助成し10市町村は完全無料化。</p>	<p>生理用品 無料配布</p> <p>共産党としてみなさんと運動し、千葉県立高校で無料配布が実現。白井でも備蓄分の配布は実現。ぜひ継続を。</p>
---	---	---

命とくらし守る3つの安心

<p>補聴器 購入助成</p> <p>補聴器は両耳で30万~60万円と高すぎ、保険適用すべきです。船橋・鎌ヶ谷・印西のようにまずは助成を。</p>	<p>国保・介護 値下げ</p> <p>国保税は年間所得233万円の4人家族で約44万円。滞納世帯は14%。子ども1人3万6千円は廃止を。</p>	<p>便利な 移動手段</p> <p>乗合いタクシーは県内24市で運行。循環バスは改定して日・祝も運行を。バス停にはベンチを。</p>
--	--	--

乗合いタクシー「チョイソコかもがわ」

ムダづかいなくし福祉にあてる

税金67億円の給食センターは食べ残し多量

市の未来のため自校式給食は残し生かすべき

市は改修で最新機器にできる旧共同調理場を壊し、土地まで買って15年間67億円の契約で6500食分もの給食センターを新設。さらに桜台小中学校の調理場で作る自校式給食を廃止しセンターに統合する方針を公表しました。

自校式給食のため白井に引越す人もおり、人口と税収も増やせる白井の財産をなくすなんてとんでもない。給食センターの多量の食べ残しをなくせば、

自校式給食の運営費が賄えます。笠井市長は4000筆以上の存続署名を尊重し「食育の白井」にするため自校式給食を残すべきです。



コロナ公園看板に2,530万円

徳本・中川の予算削除要求に賛同は1名のみ

新型コロナ拡大のなか、市は国のコロナ交付金3千万円の予算で、39か所の公園看板設置を計画。これを知り「高すぎる、不要だ」と感じた徳本・中川議員がニュースを出すと「いらぬ看板よりPCR検査を無料で」と、わずか数週間で2761人分の反対署名が市長に出されました(下写真)。



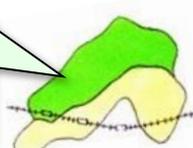
徳本・中川市議は市議会で「看板の予算を削る議案」を出しましたが、賛同したのは1名のみでした。笠井市長は「看板は将来にわたって活用できる」と工事を強行。市民の声をきかない市長、「どんな議案にもすべて賛成」の議員が多数の市議会でのいいのでしょうか。

白井民報 2023年2・3月号



日本共産党白井市委員会 清水口2-4-13-406 090-6316-7204

おも(主な活動地域) 清水口、大山口、七次台、野口、大松、けやき台、千草、西白井、富塚、折立、中、河原子、名内、平塚、今井、根・木の一部



ツイッター ホームページ 公式ライン